

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	O171100209		
法人名	株式会社さくらコミュニティサービス		
事業所名	満快のふる郷さくら千歳 2階ユニット		
所在地	千歳市勇舞1丁目7番15号		
自己評価作成日	平成23年12月1日	評価結果市町村受理日	平成24年3月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0171100209&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念に沿い、個別ケアが出来るユニット作りに入れ、毎月、目標に対して具体的取り組みを行っています。

一六つの誓いー 私たちリビングパートナーは、最良の生活環境を提供いたします。

1. 人生の大先輩に対して、尊敬と敬意をはらい、生きていくお手伝いを心からさせていただきます。
2. 一人ひとりの主体性を尊重し、真剣に向き合ったケアを行います。
3. 一瞬一瞬が、その方にとってかけがえのない人生であるから、今この時を大切にします。
4. 残された力を見出し、真の喜びと自信が持てる生活の実現を目指します。
5. 自由にその方らしく過ごしていただくために、言葉や行動による抑制は一切いたしません。
6. 地域の一員として、積極的に地域と交流し、理解を深めていただくための架け橋となります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ		
所在地	江別市大麻新町14-9 ナルク江別内		
訪問調査日	平成24年2月10日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入社時の研修で周知され、「六つの誓い」を毎朝の申し送りで唱和しています。都度検証し、毎月の会議の中でも、理念実現に向けて討議を行っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内行事やゴミ拾いに参加し、恒例のイベントでは顔馴染みになってきています。市内の催し参加、他のグループホーム行事においても交流を深めています。又、隣家に畑の貸し出しを行なっています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「さくら便り」「さくら通信」を町内に回覧しており、ホームの様子、認知症について情報を提供しています。関心を持って見る方が増えており、反響がありますので、今後も取組を継続して行きます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、報告・情報公表・意見交換を行い、サービス向上に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	キャラバンメイト連絡会などを通し、地域包括支援センター、社会福祉協議会との関係が深まってきており、相談しながらサービスの質の向上に向けて取り組んでいます。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしないと理念に掲げ、拘束をしないケアを行っています。又、「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を周知する為勉強会を行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	理念実現に向けてケアが行われている為、虐待はありません。不適切なケア、特に言葉の抑制を無くす為大きな声、一方的な説得といった関わりの見直しに重点を置いています。		

さくら千歳2階ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内容を理解している職員は少ないが、勉強会を開催したり、適時に伝達はしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約の際に詳しく説明し、理解・納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様やご家族様からの意見等について内容・改善点を記した報告書を作成し、全職員が周知し、運営に反映するよう努めています。ご意見箱の設置、公的窓口の紹介も行っています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見・要望については、適宜又は面談の際に聴くようにしています。月に一度責任者会議を実施しており、職員の意見等を伝える場があります。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	事業所の方針に則り、導入したキャリアパス制度を基に自身のスキルチェックを行い、個々に目標を掲げて達成するための方策を管理者と面談をしながら組み立てています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	キャリアパス制度のツールで明確になった個々の力量に基づいて、目標達成に向け上司、チームで共有し取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内地域密着型事業所で構成した「絆の会」を通じて、合同「大運動会」や研修、講座に参加し、交流は深まっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時には、何度も足を運び、細かく情報収集を行っています。一つ一つの言葉を拾い、ご本人の思いを受け止める努力をしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様のお話を丁寧に伺い、現状や要望を捉え、一緒に最善策について話し合っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	細かな情報収集を行い、ニーズを見極めながら職員全員で入居の検討をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に家事を行いながら、入居者様が職員と共に生活しているという実感を持って頂ける様、努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様とは、日頃から積極的にコミュニケーションを取るよう心がけています。密に連絡を取り合うことで入居者様との架け橋となったり、協力して頂ける方には、一緒に家事や行事参加をして頂ける様、働き掛けています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様にとっての馴染みの方をご家族様からお聞きし、希望に応じてお連れする事があります。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者様同士が過ごせるよう、食事の席にも配慮し、環境作りをしています。		

さくら千歳2階ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院で退居された方のお見舞いに行き、その後の受け入れ先の相談等を随時行っています。又、年賀状を出したり、足を運んで頂ける様行事にお誘いする等、関係の継続に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	介護計画のアセスメントツールに、センター方式を取り入れており、入居者様のニーズやご本人が発した言葉などをアセスメントし、ユニット会議で検討し、意向の反映に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式の中で細やかな情報収集を行い、ご家族様からも情報提供の協力を頂いています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活歴、性格、現在の様子・状態、能力、要望を把握する様努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度の会議で原因、背景に主軸をおいたカンファレンスを行い、計画を立案しています。会議に参加できない職員は事前にシートを提出しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録にはご本人の言動、介護計画に沿った支援を記録し、介護計画の進捗状況の把握、評価、実践に役立てています。都度話し合い伝達することで情報の共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	提携医や看護師による健康管理やホーム内で出来る簡単なリハビリ支援、外出等入居者様の思いを叶えるための支援を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練やイベント時には、消防や民生委員、町内の方々のご協力が得られています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医による往診、24時間相談、看護師による健康管理等の医療連携体制が整っています。以前から継続している病院のある方は、そちらに受診し主治医に報告しています。		

さくら千歳2階ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医師、看護師との連携は深まっており、支援出来ています。疑問点は、事前に調べた上で看護師に相談をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、病院関係者との情報交換や主治医からの病状説明に同席し、情報収集をする中で関係構築を図っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期の対応指針を示し、現時点でのご家族様の意向を文章で確認しています。又、入居者様やご家族様の意向を第一に考え、かかりつけ医の指示を仰ぎながら全員で方針を検討しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急法について学び、緊急、救急、防災マニュアルを整備しています。全職員が対応できるように訓練を定期的に行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回避難訓練を行い、地域の方々が参加されています。指摘事項は全職員へ伝達し、都度、改善に向けての取組を行っています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーや羞恥心に配慮した声掛けを行っています。排泄に関することなどは他の人に聞こえないように配慮しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様より希望があれば可能な限り対応しています。訴えの少ない方へはこちらから声を掛け支援が偏らないように心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のペースに合わせて極力希望に添える様に支援しています。又、予定に頼らずその日の勤務者が話し合い、行動できるようにしていきます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行き付けの美容室に行ったり、洋服選び等一人ひとりの希望に合わせて支援しています。		

さくら千歳2階ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを把握し旬のものを取り入れています。各自の出来る作業を行って頂き、食事中にも、誰が作ってくれた物かという事を会話に交え、楽しんで頂く配慮をしています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は毎日確認しており、1日1000ccを目安に飲用して頂けるように夜間にも提供したりしています。また、カロリー制限がある方へは、コンニャク料理などカロリーの少ない物を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状態に合わせて対応し、朝・夕の口腔ケアと義歯洗浄を行っています。状態によりガーゼでのふき取りなどで清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの状態に合わせた排泄支援を行っています。極力トイレでの排泄を促し、オムツの使用を減らす努力をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い物を提供しよう心がけ、牛乳、センナ茶、青汁を毎日提供しています。体操や腹部マッサージを行ったり、下剤の調整を都度、看護師と相談しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	自ら入浴の希望を訴える方は少ない為、声掛けは職員より行っていますが、曜日や時間の取り決めはありません。拒否が強い方には時間をずらしたりと、一人ひとりの状況に合わせた配慮をしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりに合わせて、臥床して頂いたりソファーで寛いで頂く等、休息支援を行っています。落ち着いて安眠出来るよう、電気や物音に配慮をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬などの効能、副作用を理解するために、必要に応じて各人で調べるように働きかけています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各入居者様の出来る事や好きな事を把握し、役割のある暮らし、自立への支援や楽しめる環境作りに努めています。		

さくら千歳2階ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には散歩や日光浴を行い、戸外へ出るための一人ひとりに合った支援を行っています。遠方への外出希望にはご家族様の協力も頂きながら希望に添えるよう努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	手持ち金を持たれている方には、週1回手持ち金を一緒に確認をさせてもらっています。また、買い物時に支払いが出来る方には、働きかけていきます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様の協力を得て、交換日記を行っている入居者様がいます。又、ご家族様からの電話にはなるべく入居者様にも出て頂き、お話ができるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテン等で光の調節に気を配り、不快な音を避け、静かな環境作りをしています。生活感を感じられる家具や備品の設置、階段の壁には季節に応じた飾り付けがされています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには、大勢で座れる団欒の場があり、独立したソファやテーブルが用意され、思い思いの場所で過ごすことができるよう工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にはご家族様と相談しながら家具の検討を行い、長年慣れ親しんだ家具を持ち込まれたり、家族の写真を飾られたりと入居者様が居心地良く過ごせるよう工夫しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	便所や浴室の場所は、はっきり解りやすく手作りの表示をしています。又、入居者様によっては居室に表札をつけたりと、自立して暮らすことのできる工夫を行っています。		